

分野	科目名	単位(時間)	講師所属
専門分野	精神看護学総論	1(30)	外部講師
	開講時期	講義回数	
	1学年後期	15回	
実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
目標	こころの働きを成長・発達と環境との相互作用の中で、影響を与える要因を理解し、各ライフサイクルにおいて、健全な精神発達と保持・増進をはかる援助を行うのに必要な基礎的能力を養う。精神保健医療の意義と目的、対象を理解する。		
授業内容	回	項目	内容
	1	精神医療と看護の歴史	1. 患者処遇をめぐる精神科医療の歴史
	2		1) 精神科医療の歴史 2) 我が国の病院精神医療の現状と課題
	3	こころの構造	2. 患者の権利と社会参加
	4		1. パーソナリティの成長発達
	5		1) こころの構造 2) 自我の社会化
	6	精神看護の基本概念	2. こころの健康とは
	7		3. こころの発達と関連問題
	8		4. 社会の変化とこころの健康 5. ストレスと適応
	9	精神保健医療福祉をめぐる法制度	1. 精神看護とは
	10		1) 精神看護の多様性
	11		2) こころの問題の個別性
	12		2. 精神看護の特徴 1) 精神看護の基本と難点
	13	精神医療の今後の課題	3. 精神看護の領域 1) 人間の発達と精神看護
	14		2) 精神看護の役割の変化
	15		1. 精神保健福祉法 1) 精神保健福祉法の位置づけと背景
16	テスト	2) 入院形態、それぞれにおける配慮点 3) 精神障害者の生活支援のための社会資源 制度化されているサービス 4) 今後の課題について	
教科書	精神保健看護の基本概念 医学書院		
参考書	精神看護学 医歯薬出版株式会社 田中美恵子 編著		
	精神看護技術 その手順と根拠 メジカルフレンド社 岡崎美智子 監修		
	イラストで見る診る見る精神看護 医学評論社		
評価方法	筆記試験にて評価を行う。		

分野	科目名	単位(時間)	講師所属
専門分野	精神看護学 I	1(30)	外部講師
	開講時期	講義回数	
	2学年前期	15回	
実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
目標	こころに障害をもつ、患者とその家族への援助に必要な基礎的知識を学ぶ。 精神科看護において援助を必要とする対象に対して、看護師としての治療的な関係を学ぶ。		
授業内容	回	項目	内容
	1	精神障害のある人への理解	1. 精神科看護の目的
	2		2. 精神科看護の機能と看護師の役割 1) 日常生活行動における参与者として
	3	患者-看護師関係のなりたち コミュニケーション技術	1. 患者理解の方法
	4		2. 患者-看護師関係のなりたち
	5		3. 患者-看護師関係の発展過程
	6		4. 治療的コミュニケーション技法や 5. 傾聴・共感的態度・受容・信頼など、他領域の 看護に共通となる基礎看護技術 1) 看護師として必要な基礎的技術とその態度
	7	プロセスレコード	1. 他者との対応において、自己傾向に気づき自己 理解他者理解の方法を学ぶ
	8		1) 自己のものの見方やに対する先入観や偏見
	9		2. 自己が抱く、精神障害者に対する先入観や 偏見の存在に気づく
	10		※ロールプレイングを行い、意図的コミュニケーション の活用をし、コミュニケーションの変化を実際に体験 ※オーランドの理論を基に、プロセスレコードを活用
	11	リエゾンコンサルテーション	1. 精神医学・看護におけるコンサルテーション リエゾン活動の発展の歴史
	12		2. リエゾン精神医学
	13		3. リエゾン精神看護の目標 4. 人のこころを理解するために
	14	看護師のストレスマネジメント	1. 看護師のメンタルヘルス
	15		2. 看護師のストレスとストレス反応
16	テスト		
教科書	精神保健看護の基本概念 精神保健看護の展開 医学書院		
参考書	精神看護学 医歯薬出版株式会社 田中美恵子 編著 イラストで見る診る見る精神看護 医学評論社 精神看護技術 メジカルフレンド社		
評価方法	筆記試験にて評価を行う。		

分野	科目名	単位(時間)	講師所属	
専門分野	精神看護学Ⅱ	2(45)	外部講師 専任教員	
	開講時期	講義回数		
	2学年前期	22回		
実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
目標	精神看護の対象である人間を基盤に、すべてのライフサイクルにおいて、こころのバランスを崩している人々や、精神障害者とその家族に対する看護を学ぶ。 対象とのかかわりをおとして、常に心の健康の保持・増進・回復の援助ができる基礎的能力を養う。			
授業内容	回	項目	内容	
	1	生活の場と精神の健康問題	1. 社会の動きと生活の変化、家族関係、また職場における健康問題の把握	
	2	日常生活行動と精神の問題	1. 睡眠障害・食生活・清潔など日常生活における精神の健康問題への対応、現れ方 1) それに対する看護の実際など	
	3	問題状況の把握と看護	1. 不安状態、脅迫行為、拒否、攻撃・自傷行為 1) それぞれの状況の現れ方 2) それらに対する看護を理解する	
	4 5	主な精神疾患と看護	1. 疾患の枠組み 1) 症状と、対象の援助の必要性※小テストをとりいれながら行う	
	6 7	精神保健医療福祉サービスの実際	1. 急性期対応 2. 長期在院者のケアと病棟管理 3. 部分入院 4. 精神科クリニック	
	8	主な精神科治療と看護	1. 精神療法と看護 2. 薬物療法と看護 3. 活動療法と看護	
	9	精神保健医療福祉サービスの実際	1. 地域におけるケア 2. 精神保健福祉における連携	
	10	精神保健看護における課題と展望	1. 患者の権利擁護と看護職の責務 2. 精神保健医療福祉チームと看護の質 3. 看護実践の改善のための方法※小テストをとりいれながら行う	
	11	小児期における精神障害	1. 児童期に情動障害がみられるおもな障害 1) チック知的障害/自閉症などについての看護	
	12	地域におけるケア	1. 精神障害者に対する地域ケア 1) 地域の人や場を活用して暮らしを継続する方法	
	13	精神保健コンサルテーション	1. 地域におけるコンサルテーションの必要性 1) 精神保健の視点からのコンサルテーション	
	14	精神保健医療における連携	1. 患者中心のチーム医療 1) 専門職の自律性 2) 情報の共有について	
	15	精神保健医療福祉チームと看護の質の構造	1. 看護師の役割の拡大に伴う新たな連携 2. 看護の専門性の確立	
		看護実践の改善のための方法	1. 実践の担い手の成長を促進する 1) 実践的研究の留意点	
	16 17 18 19 20 21 22	事例学習	事例により看護過程を展開し、精神科の看護の特徴を学ぶ	
		テスト		
	教科書 参考書	精神保健看護の基本概念	精神保健看護の展開	医学書院
	評価方法	筆記試験にて評価を行う。		